Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

１．適用範囲

本書は、DF57 シリーズ圧着端子をケーブル(AWG26～AWG34)に圧着して、圧着ソケットに端子を挿入するまでの手順について規定するものです。

２．コネクタ品名

品　　名	一般名称
DF57-****SCF(A)(##)	圧着端子
DF57(A)H-*S-1.2C(##)	圧着ソケット

＊=極数、(##)=仕様番号

３．ハーネス手順

3.1.ケーブルストリップ

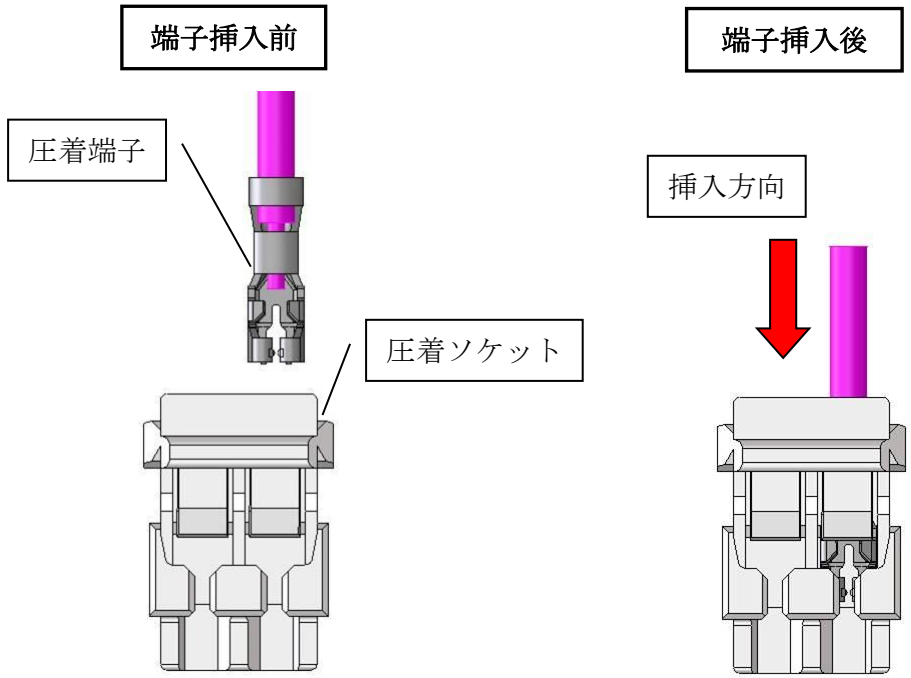
圧着品質基準書（ATAD-H0404-00）に基づき、ケーブルのストリップを行う。
その際、ケーブル芯線に傷が入っていないかの確認を行う。

3.2.圧着工程

アプリケーター（AP105-DF57-****S(A)）を用いて圧着を行い、圧着条件表、
圧着品質基準書（ATAD-H0404-00）に基づき、圧着ハイト、圧着形状を確認する。

3.3.圧着端子ソケット挿入

圧着された端子のケーブルを持って、圧着ソケットの各端子穴に挿入する。
（下図の矢印方向に端子を挿入する。）

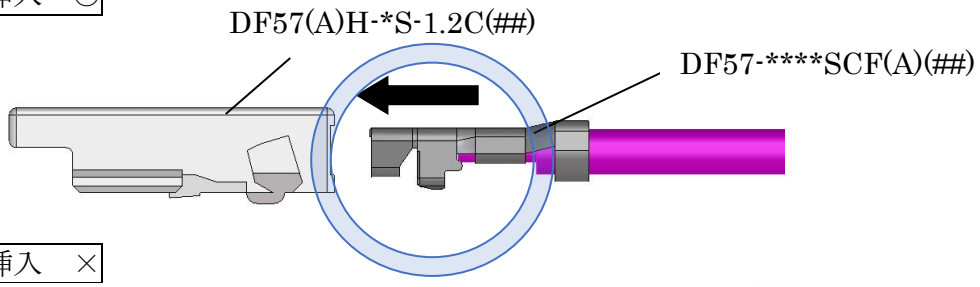


	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
⚠	2	DIS-H-00017315	HK.HAYASHI	SZ.ONO	20230224

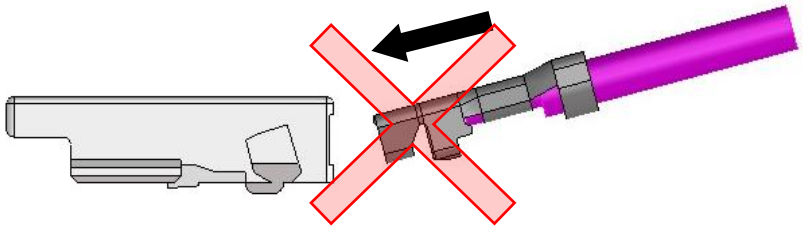
名　称　TITLE	HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.		
DF57 ｼﾘｰｽﾞ　ハーネス手順書	APPROVED	TS.SAKATA	20091201
	CHECKED	MN.KENJO	20091201
	DESIGNED	TS.KUMAZAWA	20091201
	WRITTEN	TS.KUMAZAWA	20091201
技 術 指 定 書　TECHICAL SPECIFICATION	ATAD-H0421	⚠4	1 / 4

・性能信頼性を維持するため、圧着端子(DF57-****SCF(A))を斜めに挿入しないで下さい。

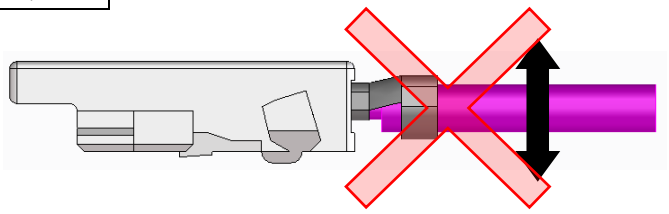
水平挿入　○



斜め挿入　×

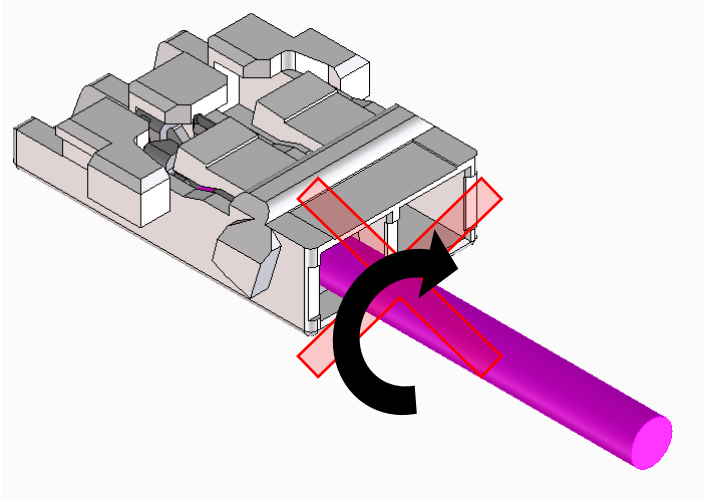


こじり　×



・端子挿入後、過度にケーブルをねじらないで下さい。

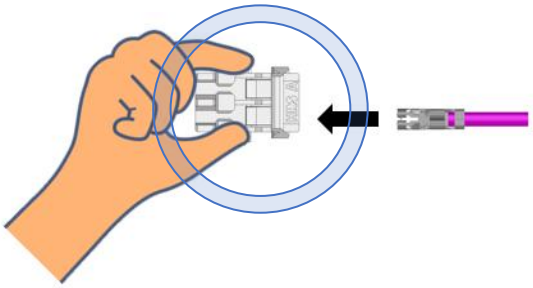
ねじり　×

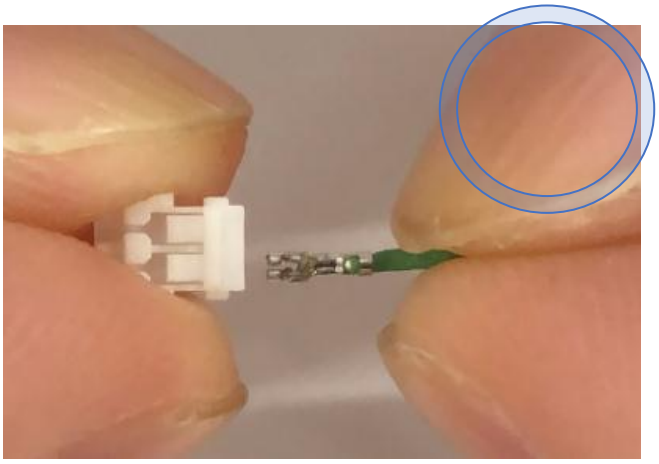


Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

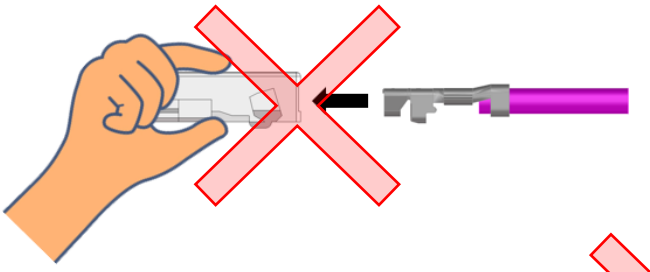
△3・圧着ソケットの破損による圧着端子の抜けを防ぐため
圧着端子挿入時に圧着ソケットのランス部は掴まないようにして下さい。

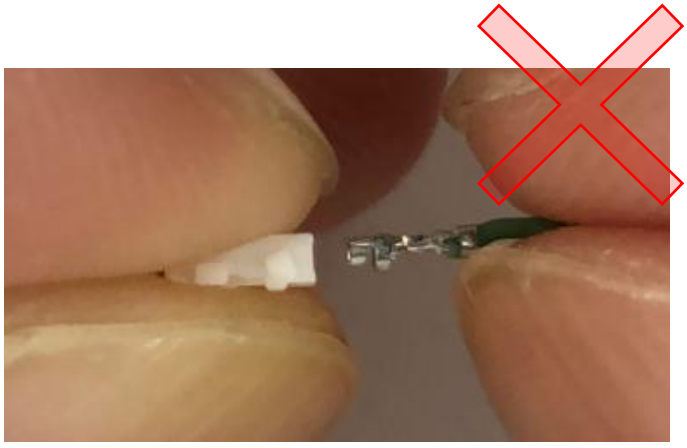
正しい持ち方　○





誤った持ち方　×



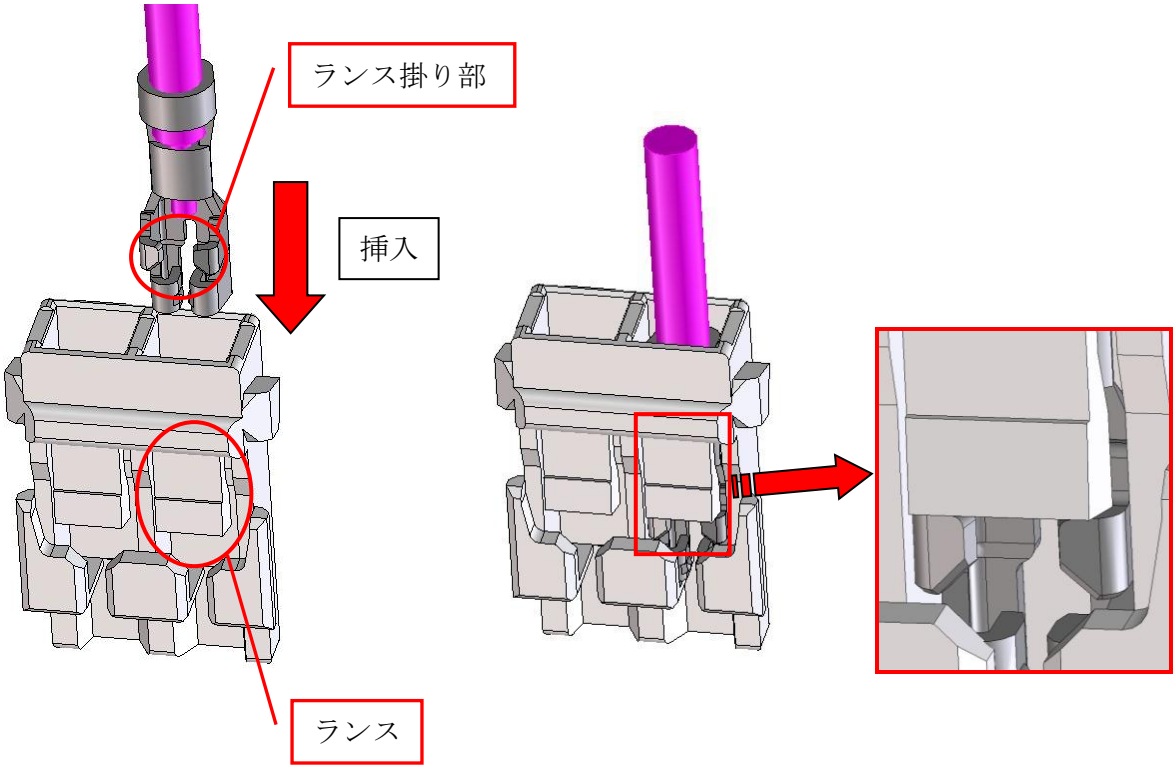


△3・電線の導体が銅合金等の硬い材質の電線の場合や、被覆の材質が ETFE 等、推奨電線と異なる場合は、電線の適合可否を確認しますので弊社営業担当へご連絡をお願い致します。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

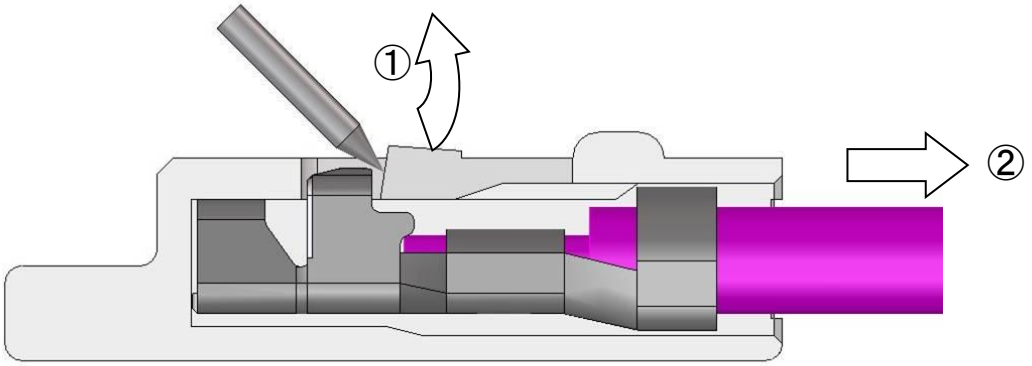
端子挿入
状態確認

圧着端子のランス掛り部が圧着ソケットのランスに掛っていることを確認する。



※圧着端子のリペアについて

一度挿入した圧着端子を抜く時は、DF-C-PO(B)、又は先の尖った針などを使いモールドランスを持ち上げながらケーブルを引っ張って引き抜いて下さい。リペアを行ったことでランス強度が低下している可能性があります。リペアを行った圧着ソケットは再利用せずに新しい圧着ソケットをご使用下さい。



Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.